



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2014.11.2 (No.2800)
週報 No.15

第2560地区ガバナー／佐々木昌敏
会 長／高橋 司
会長エレクト／五十嵐 晋三 (クラブ奉仕A)
副 会 長／川瀬 康裕 (クラブ奉仕B)
幹 事／野崎喜一郎
S A A／松永 一義
会 計／船越 正夫

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:54名中33名
■先々週出席率:87.50%

【ゲスト】

- ・国際ロータリー第2560地区ガバナー 佐々木昌敏 様
- ・第4分区ガバナー補佐 菊池 渉 様

【ヴィジター】

- ・三条RAC 白井太郎さん、五十嵐敬康さん、如澤清高さん、武藤雅俊さん、川越健矢さん
- ・米山奨学生 アイヌル アラファさん



会長挨拶

高橋 司 会長



皆さんこんにちは。

本日は2560地区ガバナー、小千谷RC 佐々木昌敏様をお迎えしてのガバナー公式訪問です。

お忙しい中、三条RCによろこそいらっしやいました。心より歓迎申し上げます。後程ご指導の程宜しくお願い致します。

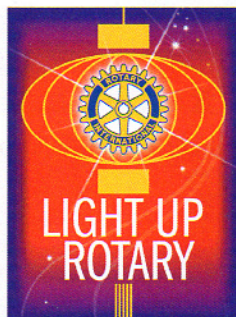
又、三条ローターアクトクラブの皆さん、米山奨学生アラファさん、よろこそいらっしやいました。

第2560地区佐々木ガバナーのスローガンは

「ロータリーはあなた自身から」であります。

- ・他者が自分に何をしてくれたかでなく、自分が他者に何をできるかを考えよう (決めたら進んで行動しよう)
- ・自分が欲しないことは他人にしない。
- ・奉仕の喜び、クラブの輝き、地域の輝き⇒国際ロータリー会長の今年度の「ロータリーに輝きを」となるわけです。

先程ガバナー補佐、会長、幹事・次年度会長・幹事、RAC 会長・幹事と共に約1時間ほどの懇談会がありました。大変有意義な時間を頂き感謝申し上げます。



「ロータリーに輝きを」

2014～2015年度国際ロータリーのテーマ

本日は佐々木ガバナーの講話の後、クラブ協議会、記念写真となります。宜しくお祈いします。その後、懇親会に移り、三遊亭金時師匠をお迎えしての落語講演会です。ガバナーも出席していただけますので大いに笑って楽しんで下さい。

ニコニコBOX

佐々木昌敏様

三条RCの皆さんにお会いできて喜んでおります。よろしくお祈いします。

第4分区ガバナー補佐 菊池 渉様

第4分区8クラブ中、9番目に「我がクラブ」に参りました。他のクラブの方が楽です!!

高橋 司さん

佐々木ガバナーをお迎えしての公式訪問、クラブ協議会です。よろしくお祈い致します。佐々木ガバナーよろしくお祈いします。

石橋育於さん

佐々木ガバナーようこそおいで下さいました。御指導よろしくお祈い致します。ガバナーをお迎えしてこの機会にあらためて会員の皆様より会員増強に対しまして温かな御協力をよろしくお祈い致します。

野崎喜一郎さん

本日は楽しい例会です。金時師匠の落語大変期待しています。

五十嵐晋三さん

佐々木ガバナー公式訪問大変ご苦労様です。どうぞよろしくご指導下さい。

小林敬典さん

親睦委員の皆様には今回の親睦旅行での写真、本当に有難うございました。

明田川賢一さん、浅野金治さん、五十嵐昭一さん、

衛藤泰男さん、小越憲泰さん、歸山 肇さん、

樺山 仁さん、川瀬康裕さん、木村文夫さん、

熊倉昌平さん、小出子恵出さん、小林吾郎さん、

斎藤弘文さん、佐野勝榮さん、渋谷健一さん、

杉山幸英さん、関川 博さん、中村和彦さん、

中村信一さん、西山徳芳さん、松永一義さん、

丸山行彦さん、吉井直樹さん、若槻八十彦さん、

渡辺勝利さん、渡辺 稔さん

佐々木昌敏ガバナー、菊池 渉ガバナー補佐を心より歓迎申し上げます。ご指導宜しくお祈い致します。

11月2日分 ￥ 49,000

今年度累計 ￥401,000

「ロータリーと私」

国際ロータリー第2560地区ガバナー

佐々木 昌敏様



1. はじめに

2. 幼少の頃

新潟県刈羽郡小国村に、昭和16年太平洋戦争開戦の年生まれました。祖父は大正、昭和米穀商として敏腕をふるって財をなし、商才で得た金で地主としての立ち位置を確立しました。

父は醤油の醸造業を興し、地元でそれなりの業といたしました。母方は、新潟県初代県会議長を生んだ裕福な家庭でした。私はその間に長男として生まれ、すくすくと成長すれば良かったのですが、小学校入学の頃、肺炎を患って病床に伏し、余り学校に行った記憶がありません。

いつも祖父がラジオで株式相場を聞いているのにお付き合いをしておりました。小学校3年生になると、平和不動産で始まって後樂園で終る証券取引所の銘柄を空で言えるほど覚えてしまう始末でありました。

それでも小学校高学年、中学へと進むにつれ、家系を引継いだ運動神経でスポーツに頭角を發揮しはじめ、家族を喜ばせました。

学校から帰ると、醸造工場の手伝い、配達集金、農作業の手伝いと、猫の手も借りたい家の中で戦力として働き続けました。当時としては、そのことは極めて普通のことでした。

孫の成長を何よりの楽しみにして温かい眼差しを送っていた祖父は、ある時孫に伝えました。“なあ坊! いいかよく聞けよ、商売は金が大事だ。金がなくて困るときでもニコニコして、困っているところを人様に見せてはダメだゾ、ひとは金を貸してくれないからナ、銀行もそうだヨナ。商売の調子がよくて金がジャブジャブ入るときにチャ逆金に金なくて困るような渋い顔をしているのだゾ、そうでないと悪いヤツラが来て、お前をダマシたり、あるいはタカリにやってくる。気をつけてナア、財布の底と腹の底は見せないことだ。よく覚えておけよ、ナア坊、わかったナア” 商家の跡目に対する教育でありました。その頃まだ小学生でした。

3. 高校、大学の頃

祖父は商売で得た金で田んぼを買っていましたが、戦後農地解放で全て無に帰り、醤油の醸造業だけが残りました。西に傾いた落日の家運に悲壯感の漂う日々を送る中、商業高校へ進むことに何の迷いもなかったし、家族も同じ気持ちでした。

高校3年になると皆就職を決めます。俺はどうするのか、幼少の頃から手伝っていた家業のこれから訪れるであろう命運に立ち向うには準備不足だ。そうだ、大学へ行こう。

大学進学については家族間でモメにモメ、奨学金を貰ってすすむことになりました。決定したのは12月に入ってからでした。そして大学4年になるとこんどは銀行へ3年ばかり行ってくるといって、親の意に沿わない道を選びつづけたのです。

4. 銀行時代

東京都湯沢区と言われたバブル最盛期に銀行支店長家業がスタートしました。

都市銀行西の雄 住友銀行磯田頭取は、“取引先の発展にいかにか貢献できるか、銀行業績はその一点にかかっている”と号令をかけるなど、都銀、地銀問わず競って取引先の発展に貢献しようと努めました。景気が資金を呼んで、資金が資金を呼んで、激しい資産バブルの時代でした。

時間も体力も全て取引先に尽くす。取引先のため、世のため、人のため尽くすことが業績に結びつきそして、明るい未来が待っている。人生も開けてくるのだという論理でした。

しかしバブルははじけ、銀行には不良債権の山だけが残りました。そして考え方も、give and give. then be given という考え方から、我が田に水を引く考え方が主流になってきました。業績も反転し、厳しい低迷期に入って行ったのです。

5. 起業

不良債権の発生は志気の低下を呼び、銀行をとりまく環境はすっかり灰色ムードに覆われてきました。転職を考えはじめていた頃、三条支店長の命を受けました。三条市は新潟県内では特異なところで、人口8万で社長が1万人いるといわれるほど実業の街です。商売一筋の町です。ああそうなのか、なるほどそうだったのかと腑に落ちることばかりで、商売一筋の人生だった私には非常に楽しく、水を得た魚の如きハツラツとした日々でありました。

入会した三条RCではコメリの捧社長さんが会長でおられ、新潟、群馬で2560地区だった頃のPG藤田説量さんもご健在で、親しくご教授いただくなど、クラブは活力に満ち溢れておりました。

銀行での実績は100点満点でも、銀行内部の評価は正反対でした。そんなことはどうでも良い。そうだと会社を起そう！と決意しました。ここから起業への道をまっしぐら進んだのでありました。

6. 家族の合意

業を起すにはいくつかの条件が必要です。

その第一は妻の合意を得ること
その第二は家族の同意を得ること
そののち資金の裏付けをつくること
だと思います。

妻はあなたがその気ならなさればよいという。

子供は父さんが勝手にやるのは構わないが、誕生がくれば59歳だ、俺たち4人の息子に負の資産を残されては困る。何をどのようにやろうとしているのか業務計画書を作り、向こう3年間について数字で説明してもらいたい。我々はそののち判断したい。親子の立場が逆転することを言い出した。

その姿をそっとのぞいていた妻は、タンスの奥から現金7百万円を出してきて、何かのタシになさってくださいと。4人の息子を東京の大学へあげて日頃ピーピー言っていたはずなのに、ほんとうに山内一豊の妻だと思いました。

そののち2年経て、長男が銀行は不良債権の処理ばかりで面白くない。父さんの会社に入りたいと申し出てきた。役場にいた3男も兄さんと一緒なら僕もと。そうだ、子供たちの会社をつくって株主は子供だけにしよう。これからは子供たちの会社を大きくしよう。会社は事業継承が一番難しい、これでこの問題は主旨解決だと、新たな思いで事業意欲にスイッチが入ったのでありました。

3年前国税局が来たときに、あなたが代表であるにも拘わらずなぜ株主になっていないのかと質問されました。事業継承の際に税当局に支払う相続税を小さくするためですと答えたら、さすがに渋い顔をしていました。

7. クラブ会長の頃

加茂RC 2年、三条RC 2年を経験させていただき、会社創業5年目に小千谷RCに入会し、まもなく会長に就任いたしました。群馬県進出が一段落して、次はということで山形県へ行きました。これがうまくいって、これまでイマイチの業績が一廻り大きくなって安定しました。ロータリー会長は忙しいけど会社も忙しい。業績に直結する多忙感はまさに充実の時間であり、事業者冥利に尽きる時間であります。

ロータリーの会長に就任したことで訪れた神様のごほうびだと心より喜び、感謝いたしました。

8. 首都圏へ

山形県での成功でやや有頂天になっていた頃、さあ次は首都圏だと先頭になって走り出しました。好事魔多し、と昔から言われています。さあチャンスだと意気まいてるときはすでにピンチを招いているのだと思います。あの太平洋戦争ですらそうだったのですから。地方から東京へ出て行けば、そこ

で待っていたのは、最初はサギ師、それから右翼、暴力団、マスコミ風のオドシ屋、それから労働左翼。彼等は皆一流のプロ。あとでわかることだけど、彼等はどこかで繋がっている。深入りすればするほど足が抜けない。思う存分痛めつけられました。眠れぬ夜が続き、体調の悪化が負の連鎖を生み、さらに深みへと。ああ、もうダメかと灰色の毎日がつづき資金も苦しくなってきました。損失額も数億円に達し、行政から、裁判所から、各地から呼び出しがかりました。

ところがあるとき、私のRバッジをみたある人が力になってくれました。地獄で仏に会った思いでした。九死に一生を得ました。ここを起点として“あの人はダメされてもダメさない安全の人”というレッテルをはられました。反撃に転ずることができました。現在は多勢の応援団に支えられて、首都圏でもいい薬局ができそうな予感がします。

9. ロータリーに思う

私はさきほど申し上げたように小さい頃病弱の身であったことから、強者に従うよりも弱者に眼差しを送ることが強かったように思います。

銀行でも、give and give. then be given という考え方で過しました。銀行員としての成果が発弾に終わってしまったことも何かうなずけるような気がします。他者を気遣い、思いやる力を身につけることに特別な努力をしてこなかったように思います。ロータリーは、そしてロータリアンは、他者のニーズをいち早く汲みとり、そのニーズ達成にチャレンジしていくことだと思えます。だからロータリーは楽しいのです。

10. ガバナーに就任して

私は、2年前にガバナーノミニーに就任し、去年はエレクト、今年3年目でガバナーとなりました。ノミニー就任の頃1週間ほど長岡日赤に入院しましたが、生活態度をしっかり守れば大丈夫だからとお墨付きをいただきました。しかし、ひとたび健康に問題が発生すれば多くの方々に迷惑をおかけすること必定です。ならば、ということで1日1万歩歩くことで健康を管理しています。

いまでは、100歳までロータリーを全うしたいと願っています。今73歳ですので、まもなく第4コーナーに差し加かろうとしているわけです。

健康をつくりながら、ロータリアンとして人生を全うしようとするならば、私をとり巻く多くの信号は静かに青に変わると信じています。

本日はありがとうございました。







次週例会 11月19日 「ロータリー財団月間」
 第2560地区ロータリー財団委員会
 奨学金委員長 中村隆輔 様

次々週例会 11月26日 「音楽で心豊かに」 声楽家 桑原純子 様

